



教務だより

令和8年5月29日

No. 1

文責 教務主任 手塚 隆

家庭学習のより一層の推進に向けて

美園小学校では、子どもたちの学力向上を図るため、「学力向上のための学校改善プラン」を基に「家庭学習の手引き」を作成し、家庭学習の推進を行っています。

現在、本校においては学習内容の着実な定着を目指して授業改善に努めているところですが、家庭学習においても家庭と学校が連携することで、より確かな学力を定着させることができると考えます。

今年度においても、子どもたちの家庭学習状況を把握し、その後の指導に活かすために、各学年の家庭学習の取組状況について、数値目標を決めて年2回の調査を行います。

5月中旬に行った家庭学習強化週間の取組（1回目）について、結果と考察をお知らせします。

〈家庭学習強化週間の取組の結果〉

【表1】は、今回の調査において振り返りを数値化し、集計した結果です。

今年度、本校で立てた目標は、学校全体で75%以上としています。各学年の達成率は以下の表にあるようになります。

* 振り返り欄の中で 「よくできた」を2点、「できた」を1点、「もう少し」を0点 と数値化し、7日間を集計しました

【表1】 目標を達成した児童の割合

学年	1	2	3	4	5	6	全校
達成率	82.3%	79.8%	69.1%	69.7%	66.0%	70.2%	72.1%

〈結果を受けた考察〉

今回の調査において、低学年の達成率が高く、学年が上がるにつれて、達成率が低くなる傾向にあります。また、学校全体としては、目標とした75%以上を達成できませんでした。

個々の子どもの取組状況を分析すると、以下のような傾向が見られました。

- ・ 同一の学習課題（毎日、漢字練習など）を続けるなど、学習に対してさほど目的をもって取り組んでいない児童が一定程度いること。
- ・ 日によって家庭学習に取り組む意識に差があり、週末に「もう少し」と振り返っている児童の割合が他の曜日に比べて高いこと。

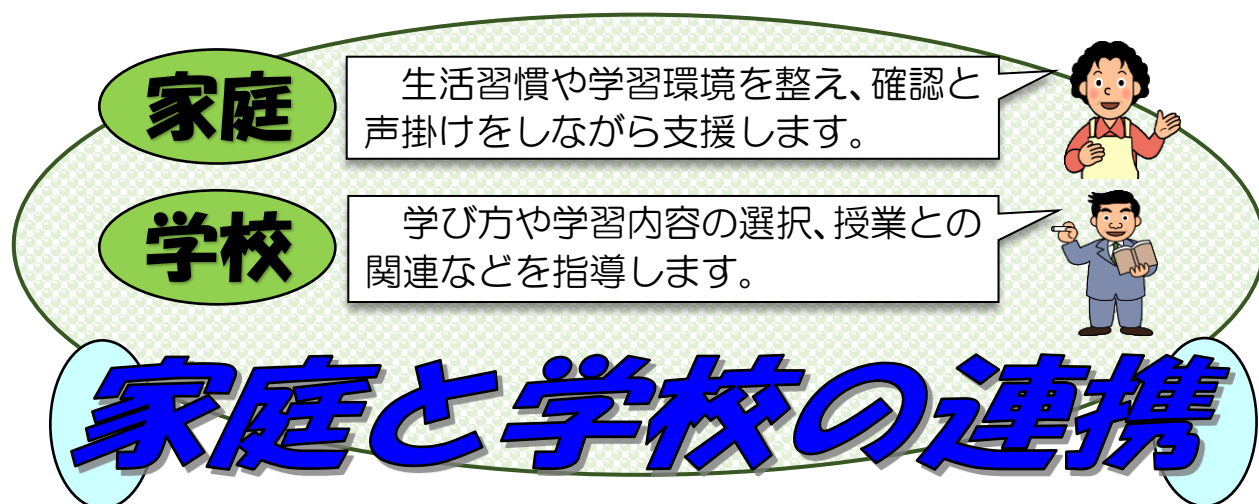
子どもたちの家庭学習習慣を身に付け、学習内容の定着を図るためには、今回の結果を活かし、次のような改善が必要と考えました。

- ☐ 毎日の生活リズムと学習環境を整えて、家庭学習を行うこと。
- ☐ 「何を、どのように行うか」計画を立てて、家庭学習を行うこと。
- ☐ 個々の子どもの学習状況により視点を当てて、家庭・学校が細かな見取り・声掛け、個別の指導を行うこと。

〈家庭と学校の連携が不可欠です〉

当たり前のことですが、「家庭学習」は家庭（自宅）で取り組むものです。そのため、子どもたちがどのように家庭学習に取り組んでいるのか、保護者の皆様に見ていただくことになります。一方で、子どもたちにとっての主な学習の場は学校ですから、学校では学習の仕方や課題の選択などの具体的な指導を行います。

このように、家庭と学校が連携し、それぞれの立場で積極的に子どもにかかわることで、子どもたちの家庭学習習慣を身に付け、学習内容の定着を図ることができると思います。



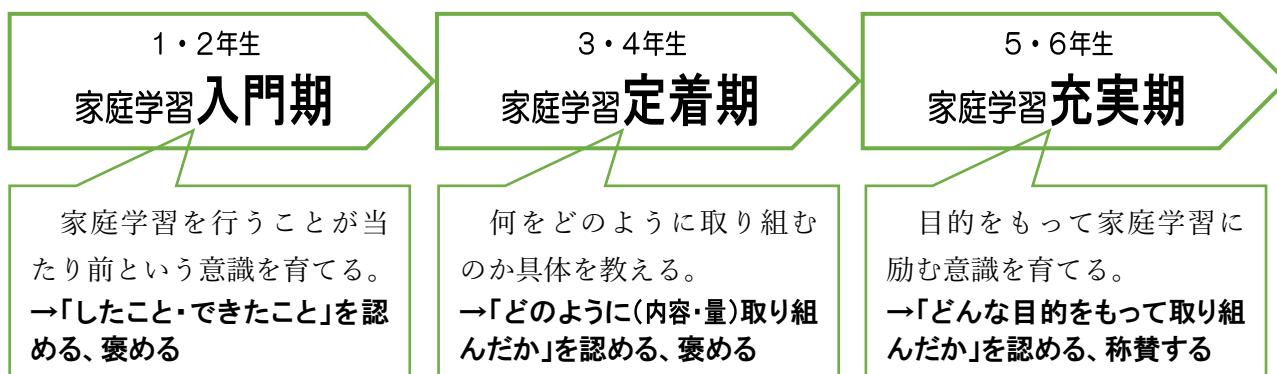
〈発達段階に合わせたかかわり方が大切です〉

子どもたちに対して「勉強なさい!」と、つつい声声を掛けてしまいがちではないでしょうか。子どもたちは年齢や学習の理解、学習に対する意欲が1人1人違います。

どんな子も勉強は大切なことはわかっています。そうであれば、子どもが進んで「しなければいけない。」「やってみようかな。」と思えるように意識を向けさせたいものです。

そのためには、子どもの発達段階に合わせたかかわり方をすることも大切です。

〔か か わ り 方 の ポ イ ン ト〕



家庭学習は、子ども・家庭・学校の3者にとって継続した取組ですので、誰もが無理なく続け、子ども自身が成長を感じられる取組にしたいものです。